

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 3 年 7 月 13 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22 年度
国際ロータリー会長
Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日



第 2920 例会
第 2503 号

2021.7~2022.6

会 長 森本博明
副 会 長 北村公一
幹 事 小川佳伸
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日（7月13日）のプログラム 「新年度運営方針」

職業奉仕委員長：眞下 節
社会奉仕委員長：武枝敏之
国際奉仕委員長：小寺潤一
青少年奉仕委員長：吉川秀樹

次回（7月27日）のプログラム

「信用金庫と私」
～ 勤続 43 年を振り返って～

卓話担当：小牧義昭

★会長の時間★

「はじめに」

2021-22 年度 会長 森本博明

今年度会長と言う大役を仰せつかりました森本でございます。どうぞよろしくお願い致します。私は平成 9 年 8 月 5 日に 37 歳の時に入会させていただきました。早いもので 24 年の月日が過ぎました。職業分類は自動車整備でございます。私の仕事は自動車を通して人の命の安全と安心を提供する事です。道路運送車両法に基づいて皆様がよくご存知の車検の可否検査、安全安心快適にドライブして頂く為の予防整備。あと钣金塗装、各メーカーの車両販売、保険業務など自動車関係全般です。

当然ですが自動車も環境、安全面対策に対しての進歩は著しいものがあります。またロータリークラブにもいろいろなルールがございます。皆様、既にご存知かと思いますが、おさらいの意味で、今回は「はじめに」豊中ロータリークラブ週報について少しお話ししたいと思います。今年度は会長の時間は次週の週報に掲載されます。また、重要な情報が多数載っております。特に受付当番、副幹事・副 SAA の当番は例会のスタートには重要な事です。担当の会員のご都合が悪い時は、必ず引き継ぎをお願いします。まず週報、豊中ロータリークラブの下に豊中ロータリークラブのスローガン「広めよう ロータリーの心 地域とともに」そして 2021-22 年度 シカールメーター国際ロータリー会長のテーマ(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)、本日のプログラム、次回のプログラム、会長の時間、四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意を友情深めるか 4. みんなのためになるかどうか例会日時、事務局時間等が載っております。2 頁目は例会出席報告、幹事報告、掲示板、受付当番、副幹事・副 SAA 当番、3P 目に前回の卓話等でございます。

このコロナ禍の中 7 月から 9 月までの例会は会食なし、皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけしますが何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。精一杯努力させていただきますので、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)

H P アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2919回	第2916回
例会日	7月 6日	4月 6日
① 会員数 A	37	38
(内出席免除者)	8	7
② 出席義務者数	29	31
③ 出席義務者出席数	20	19
④ 出席免除者出席数	6	2
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	9	12
出席率 %	74.29%	66.67%

出席率 (2919回) ③+④/②+④ 出席率 (2916回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・国際ロータリー第 2660 地区より
「2021 年 7 月 静岡県熱海豪雨災害支援のお願い」が届きました。
- 「2021-22 年度地区委員会 活動計画書」が届きました。
- 「【地区危機管理委員会】新型コロナワクチン接種に係わるハラスメントについて」が届きました。
- 「【お知らせ】 大阪みおつくし RC クラブ解散通知」が届きました。

掲示板

- ・新会員歓迎納涼会は中止いたします。
- ・第 2 回定例理事会
日 時：2021 年 8 月 3 日 (火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場前
- ・クラブ奉仕フォーラム
日 時：2021 年 8 月 10 日 (火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場
- ・情報集会は中止いたします。
- ・地区公共イメージ向上セミナー
日 時：2021 年 8 月 28 日 (土) 午前中
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター (予定)
- ・クラブ青少年奉仕合同委員長会議
日 時：2021 年 8 月 28 日 (土) 午後
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター (予定)
- ・クラブ米山委員長・カウンセラー研修会
日 時：2021 年 9 月 4 日 (土) 午前中
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター (予定)
- ・地区ロータリー財団セミナー
日 時：2021 年 9 月 4 日 (土) 午後
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター (予定)

7月6日のニコニコ箱報告

- ・ホームクラブ皆出席を頂いて
松山、宮田各会員
- ・皆出席祝いを頂いて
原会員 1年
- ・誕生日祝いを頂いて
松本悟会員
- ・結婚記念日祝いを頂いて
小川、松本悟各会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて
松山会員 (6月)、松本悟会員
- ・入会記念日祝いを頂いて
横田、松山、北村、松尾、宮田、原各会員
- ・本年度宜しくお願ひ致します。
森本、北村、小川各会員
- ・森本さん一年間頑張ってください。
岩本会員
- ・創立記念日のお祝いを頂いて
都井会員
- ・小川会員にお世話になりました。
松本悟会員
- ・欠席のお詫び
谷野会員

☆7月受付当番☆

チーフ：田中正一会員

7月13日 横田広司会員、原 和永会員

7月27日 佐川正治会員、南原 淳会員

◎副幹事・副 SAA 当番◎

7月副幹事

宮田幹二会員

7月副 SAA

村司辰朗会員

“東京オリンピック”で変則的な祝日

開会式が行なわれる7月は、7月22日(木)、23日(金)が祝日となり、4連休に。閉会式が行なわれる8月は、8日(日)が祝日となり、9日(月)はその振替休日で3連休となる。



いずれもオリンピックの開会式(7月23日)と閉会式(8月8日)の前後を連休として都内の混雑緩和を図るのが狙い。お間違いのないように。



「新年度運営方針」

2021-22 年度 会長 森本博明

62年の伝統と歴史のある豊中ロータリークラブの2021-22年度の会長を仰せつかりました、森本でございます。よろしくお願い致します。2021-22年度 シェカールメータ RI 会長は今年度のテーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」「SERVE TO CHANGE LIVES」としています。

(奉仕する時、誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる、人々の世話をし、奉仕することこそ、人生の最高の生き方)と述べられ奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけています。また 2660 地区の吉川秀隆ガバナーはガバナーメッセージの中で「2022年に当地区は100年を迎えます。今年度のRIテーマである“SERVE TO CHANGE LIVES”はコロナ禍と言う未曾有のパンデミックに見舞われた世の中に一筋の光を与えるものだと確信します。諸先輩方が築いてこられた当地区の伝統に時代に則した「多様性」と「適応性」を取り入れ、次の100年に繋がるよう、努力して参ります」と述べられております。

私はこの度、2021-22年度会長を務めさせていただくことになり、ロータリーとは何か、どんなロータリー活動をしていくことが望ましいのかを深く考える機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

昨年度より世界的に猛威を振るっているコロナウィルスの流行により混乱している時代をどう乗り切るか、低迷している経済に加え親睦を図ることが難しくなった時代にロータリアンとして何ができるのか、このような社会変化に対してロータリー活動はいかにあるべきか皆様と共に考えていきたいと思っております。

ロータリーの目的はなんなのか？この疑問を感じ、改めて手続要覧を読み返しました。

2019年手続要覧の4頁

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること (RI 定款第4条、基準ロータリークラブ定款第5条)

とあります。いかなる時代においても、どんな状況においても、この目的が変わることはないと思いたいと思います。皆様も今一度、手続要覧を手にとって考えていただければと思います。

2021-22年度の豊中 RC の運営方針といたしましては、2022年3月12日(土)に豊中 RC がホストを務める IM 第1組ロータリーデーを成功させること、成功させるためには米田眞実行委員長をはじめ実行委員の皆様、そして、会員各位のお力添えを頂きたくお願い申し上げます。クラブ全会員が一丸となり素晴らしいロータリーデーにしていこうではありませんか。

このコロナ禍でなかなか身動きが取れませんが、国際奉仕の GG も粛々と次へのステップへ進んでまいります。

昨年度は、数々の中止を余儀なくされた社会奉仕活動の再開も期待しております。昨年度より社会奉仕活動に位置づけされた留学生支援活動におきましても引き続きの支援を続けてまいりたいと思います。コロナ禍で中止になったり、規模を縮小しての親睦活動が、たくさんの会員の皆様、そのご家族、奨学生たちと以前のような楽しい思い出を作る機会として復活できればと願っております。

「新年度運営方針」

2021-22年度 副会長 北村公一



今期、副会長およびクラブ奉仕委員長を仰せつかりました。副会長の役目としては森本会長を補佐し、また会長の方針に沿ってクラブが円滑に活動されるよう図ってゆきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今期、森本会長が強調される、ロータリーの原点に帰って、風通しの良い、全員参加のクラブづくりを目標におくことは日本ロータリー創立 100 周年を過ぎた今日、大変重要なことと思っております。そのためにはまずそれぞれの委員会の活動目標を各自が明確に持つことから始めたいと思っております。従来ややもすれば委員長一人が活動されているような状況が見受けられました。ロータリーの任期は 1 年です。これは毎年新しい考えをロータリーに注ぎ込み新しい力を与える、という見方をあれば、逆に 1 年間前例通り無難に行っていれば、またなにもしなくても実害がなく 1 年がすぐに過ぎます。これをくりかえすと衰退の一途をたどる悪例にもなります。それを解消するに、それぞれの委員会を開いて活動方針、活動の進行状況、最後には次期への引継ぎを委員各位が明確に持っていただきたいと思っております。これがロータリーのよき継続につながるとおもいます。

クラブ奉仕委員会はクラブ機能を充実させることが目的の委員会であり、そしてこの委員会のなかに特定の機能を担当する、職業分類・会員選考委員会、R 情報。研修委員会、親睦委員会、会員増強委員会、雑誌・広報・会報委員会がふくまれています。それぞれの委員会におかれても委員会を開いて活動方針、活動の進行状況、最後には次期への引継ぎを委員各位が明確に持っていただくことをお願いいたします。

2020 年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は一時小康をえていましたが 2021 年になってふたたび感染が拡大し、4 月より 3 度目の緊急事態宣言が発令された。最近ニューノーマルとかニューノーマル社会という言葉を目にします。ニューノーマルとは、コロナ禍によって注目されはじめた新しい生活様式を表す言葉です。「New (新しいこと)」と「Normal (正常、標準、常態)」の融合して生まれた言葉で、以前の生活様式や経済活動、ビジネスからレジャーまで、あらゆる行動を時勢に合わせてアップデートしていく動き、すなわち「With コロナ・After コロナの社会情勢に適應するための行動」のことを指しています。ニューノーマルは国の在り方、資本主義の考え方から働き方、家庭環境、学習環境といったところまで、ほぼすべての社会的な物事で起きています。それによりいずれのロータリークラブにおいても通常例会休会や種々の活動も中止せざるを得ない状況がつついています。社会はいまだ平時にもどらず非常事態がつついています。幸い収束したとしてもこの 1 年の社会の変わりようを見るとポストコロナの社会は多方面にわたり大きく変わってゆくものと推測されます。そのような社会のなかでロータリーはどのような役割をはたせばよいのでしょうか。

2020 年 10 月に日本のロータリーは 100 周年をむかえました。ロータリーの友、2020 年 12 月号、全国クラブ対象のアンケート特集「どうなる、クラブの今後」の記事によると「10 年前と比べてロータリーも様変わりした。」や「コロナ禍の今だからこそ何かできることはないかと考えた時に、ロータリークラブに所属していることの意味や意義を見つめなおす良い機会では」という意見がありました。

ロータリーの友、令和 3 年 3 月号「ゆうあいの広場」に福井西ロータリークラブ、中村敏雄氏が投稿された「今、クラブがかわらなければ組織存亡の危機」では「今の国際ロータリーでは組織存続のため、会員増強とは名ばかりに、根本理念が規定審議会ですらたびたび変更され毎年度の人頭分担金の値上げ、ボランティア団体化、仲良し同好会化、と当初のロータリーとは違った組織になってきたように思う」と述べられ、超高齢化がますます進む日本の次の 100 年で日本のロータリーは存亡の危機を迎えるのではないかと警鐘を鳴らされています。

今年度の活動をはじめにあたりクラブ奉仕委員会として 8 月に開催のフォーラム（「ニューノーマル社会とロータリー活動について (仮題)」）において意見をもとめて今後の活動の指針の一助としたいと考えています。



本日より1年間、幹事を務めさせていただきます。至らぬ点、多いと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の活動ですが、以下のことを会長、副会長と相談しながら進めていきたいと考えています。

1)ロータリーディ講演会の開催

令和4年3月12日に当クラブの担当でロータリーディの講演会及びパネルディスカッションがあります。米田実行委員長を中心に、医師会員が多い豊中ロータリークラブの特色も生かしながら、コロナウィルス感染症について理解を深めてゆく、通常の講演会とは一味違ったものになりたいと思います。

2)豊中ロータリークラブのクラブ規則、規定、細則の見直し

長年使用してきたクラブの細則および就業規定ですが、現状に合わせて見直しを進めようと思います。

3)例会の開催方式の見直し

新型コロナ感染症の拡大に伴い、中止を組む例会の開催方式を周囲の状況に合わせて見直していきたいと思っています。

以上の事は全て会員の皆様のご協力なくして行うことができません。新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い、多くのことが従前と異なった様式を取ることを余儀なくされています。ロータリークラブの活動も例外ではありません。

新しい時代にも適合出来るように活動様式を調整して行きます。それに伴い会員の皆様には、ご不自由、ご不便をおかけするとは思いますが、よろしくお願いいたします。

出前授業報告

6月29日(火) 於：豊中市立原田小学校

澤木政光



6月29日(火)、豊中市立原田小学校で出前授業を行いました。対象は、3クラスから成る6年生90余名で、テーマは「人体の構造と働きについて」です。生徒たちが学習していたのは(1)栄養の消化と吸収、(2)呼吸と血液循環、(3)体液と尿の生成」です。担当の五十川先生から使用している教科書の該当部分のコピーと、肝臓ではどうやって有害物質を無害に変えているのか、なぜ心臓はあんなに小さいのによく動くことができるのか、腎臓はなんで2つあるのか、無くてもよい臓器などあるのか、など、子どもたちの発した22の疑問一覧を頂いたので、当日の出前授業は補習講義の形をとっていたこととなります。私は、子どもたちの要望に副うべく次のような資料を用意しました。

人体の構造を①個体、②共通の働きを持つ器官系、③肉眼で見えるような形を持った器官(臓器)、④器官をつくる素材で何種類かの細胞群が集まってできている組織、⑤顕微鏡で見える生命の単位である細胞、⑥電子顕微鏡で見ることが出来る細胞小器官など、階層的に整理した解剖学的記述とこれらの分野でどのような活動が行われているのかの生理学的記述の一覧と、理解を助けるための絵図5つの資料です。この資料を担当の五十川先生から生徒全員に配布し、予習してもらうよう依頼しておきました。

出前授業当日は、午前8時45分から11時30分まで1クラスずつ45分間、休憩を挟んで計3回の授業を行いました。絵図は教室のテレビにも映し出し、私に求められていた疑問に対する解答を織りまぜながら話をすすめました。生徒全員に配布した資料は、その場で読んですぐに理解するには難しかったでしょうが、授業終了後も熱心な質問が多くあり、予習の効果ありを認めた次第です。